

## ＜平成24年度 事業報告＞

## 1. 平成24年度の実施事業

## (1) 周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・長久手市の公共交通について、市民に周知を行うために、市民、利用者目線の広報資料として、かわら版を作成した。

## (2) 利用促進策の検討

- ・今後の長久手市に必要と考えられる短期的な取り組み可能施策について検討を行った。

## 2. 地域公共交通会議の開催

- ・上記の事業の実施に際し、下表のとおり3回の「長久手市地域公共交通会議」を開催し、協議を行いながら進めた。

会議開催日	協議内容
＜第20回会議＞ 平成24年 6月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度長久手市地域公共交通会議決算(案)について</li> <li>・生活交通ネットワーク計画(案)について</li> <li>・周知広報事業について</li> <li>・平成23年度地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会結果報告について</li> <li>・市内公共交通の平成23年度、24年度4・5月の実績について</li> </ul>
＜第21回会議＞ 平成24年10月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知広報事業〔(仮称)ながくて公共交通かわら版創刊準備号〕について</li> <li>・平成23年度地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会結果報告について</li> <li>・長久手中央土地区画整理事業地内駅前広場について</li> <li>・市内公共交通の6月からの実績について</li> </ul>
＜第22回会議＞ 平成25年 3月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知広報事業〔(仮称)ながくて公共交通かわら版創刊号〕について</li> <li>・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価案</li> <li>・平成25年度事業計画案、予算案</li> <li>・市内公共交通の平成24年度10月からの実績等について</li> </ul>

### 3. 実施事業の概要

#### (1) 周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・長久手市として初めての取り組みとして実施し、創刊準備号と創刊号を1回ずつ、合計2回の発行を行った。

##### ① 創刊準備号

- ・創刊準備号は事前周知を目的として位置付け、「かわら版」の発行の目的を分かりやすく明確に示すこととした。
- ・また、創刊号が認知されやすくするために、創刊号のタイトルは市民の方が親しみやすく、馴染みやすいものを付けることとしてタイトル募集欄を設けるとともに、かわら版の作成をお願いする市民協力者の募集欄を設ける構成とし、かわら版タイトルや市民協力者の募集を行った。

##### 【発行・回覧】

- ・市民への回覧用に1,100部印刷し、11月中旬より回覧を行った。
- ・その他に900部印刷し、Nーバス、名鉄バス車内やリニモ駅、主要公共施設や大学などに配布した。併せて、市ホームページや広報紙への掲載を行った。

##### 【市民協力者の募集結果】

- ・市民協力者を募集した結果、3名の応募があった。
- ・かわら版の創刊号作成にあたって、取材や記事作成の協力をいただいた。

##### 【かわら版タイトルの募集結果】

- ・かわら版タイトルを募集した結果、27作品の応募があった。
- ・タイトルは、一次投票で3作品に絞り込み、地域公共交通会議委員の二次投票及び協議を得て『のりゃあせ』に決定した。
- ・選定作品の応募者2名に対して、記念品として粗品の贈呈（公共交通グッズ）を行った。

## ② 創刊号

- ・市民協力者が主体となってテーマの設定、及び取材・執筆活動を行い、事務局が原稿作成、印刷を支援する形で作成を進めた。
- ・かわら版作成前の段階で、市民協力者の自宅を訪問して事前説明を行い、取材活動を開始していただいた。

### 【テーマの設定】

- ・市民協力者の方との事前説明を通じて、市民協力者の方の意向に沿って、それぞれ以下のテーマで記事を作成していただくこととし、市民協力者の方が作成した記事に基づいて、事務局で編集してかわら版の原稿化を図った。
  - 63歳女性の方：Nーバスで行けるおすすめスポットの紹介とマップなどの資料紹介
  - 62歳男性の方：Nーバスに乗ったことがないので、実際に乗ってみた体験の紹介
  - 82歳女性の方：市内公共交通を利用した愛知医大への行き方に関する紹介

### 【原稿の作成】

- ・かわら版のサイズはA 3サイズの両面印刷とし、3名の市民協力者の方の記事はA 4サイズの1枚分に収めるように作成した。
- ・作成途中の段階で、市民協力者の方に原稿案を確認していただき、適宜修正を行いながら作成を進めた。
- ・最終的な原稿案に基づいて第22回地域公共交通会議にて意見を伺って修正を行い、最終原稿とした。

### 【発行】

- ・創刊号は2,000部印刷し、第22回地域公共交通会議での意見を踏まえて、Nーバスの路線図と時刻表を同封の上で、リニモ駅、名鉄バス車内、Nーバス車内、市内公共施設などで配布を行った。
- ・配布と併せて、広報紙で周知を行ったほか、市のホームページでも閲覧できるようにデータの添付を行った。
- ・また、かわら版の作成は平成25年度も継続することとし、市のホームページや広報紙において改めて市民協力者の募集を行った。

## (2) 利用促進策の検討

- ・今後の長久手市に必要と考えられる短期的な取り組み可能施策について、他市町の事例を参考にして整理した。
- ・併せて、過年度のアンケート調査から利用促進に関する意見を抽出し、下記の施策に取り組んだ。

### ①情報発信に関する施策

- ・かわら版の作成
- ・広報紙にNーバス独自の情報掲載
- ・Nーバスの一部バス停にポケット時刻表の設置
- ・イベント時におけるNーバスマップ、グッズの配布
- ・リニモ、名鉄バスの運行計画変更案内のチラシ作成、及び広報紙への案内掲載
- ・リニモウォーキングと連携して名鉄バスの車両展示や写真撮影会の開催
- ・リニモ経営状況等のPRのため「市政まなび舎」の開催

### ②利用しやすさの向上に関する施策

- ・福祉有償運行に関する協議を開催（協議の事務局：福祉課）

### ③設備面の充実に関する施策

- ・杵ヶ池公園駅北口・南口バス停に、ベンチを新設
- ・バスロケーションシステムについて、名鉄バスの名古屋営業所管内での導入計画にあわせてNーバスへの導入を検討

### ④住民との連携に関する施策

- ・かわら版の作成にあたり、市民、利用者目線の広報資料とするために、市民協力者を募集し、3名の方の協力の下で作成